

## 2026年1月 ご注意いただくポイント

### (5-6) 簡単な調理（介助の方法）

#### 定義

- ①「炊飯」
- ②「弁当、惣菜、レトルト食品、冷凍食品の加熱」
- ③「即席めんの調理」をいう。



①～③のうち、対象者に発生している行為を特定してください。  
その中で頻度の高い行為を特定してください。  
頻度の高い行為について、どのような介助が行われているかで  
選択 ☒ します。

#### 留意点

- ・煮炊きができるかでは評価しません。
- ・お茶、コーヒー等の準備は含みません。
- ・概ね過去1週間の状況において、より頻回に見られる状況や日頃の状況で選択します。
- ・経管栄養で調理の必要のない流動食のみを投与されており、流動食のあたためなどを行っていない場合は「1.介助されていない」となります。

#### 特記事項例

惣菜は娘が準備しているが、娘が不在の月2、3回は本人が弁当を温めて食べている。本人は毎日炊飯を担当しているが、過去に炊飯器のスイッチの入れ忘れがあったため、スイッチは娘が入れている。

→「3.一部介助」

「弁当の加熱（月2、3回）」、「炊飯（毎日）」が発生しています。  
頻度が高い「炊飯」について、「スイッチを入れる」という一部介助が行われているため、「3.一部介助」を選択します。